

# 社会資本総合整備計画の事後評価について

### ●社会資本総合整備計画とは

滝沢市では、公共下水道(トイレ、台所及びお風呂場等から出る「汚水」と、「雨水」)の施設整備を行っています。その実施には、市のお金のほか、国からの補助金を充てており、5年間ごとの計画を立てて実施しています。その計画が「社会資本総合整備計画」です。

### ●事後評価の必要性

平成30年度から県内市町村の計画が岩手県の社会資本総合整備計画(平成30年度～令和4年度)へと一元化されたため、滝沢市単独の計画期間が昨年度(平成30年度)で終了しました。計画の終了時には、実施状況等について事後評価を行い、公表、報告をすることとなっております。今回、計画目標の成果について、皆様に報告し意見を求め、客観性、公平性を確保し事後評価を行い、住民に分かりやすくお知らせすることを目的としています。

### ●計画について

- 1 名称 社会資本総合整備計画
- 2 目的 下水道の整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創ります。
- 3 期間 平成27年度 ～ 平成29年度 (3年間)
- 4 計画概要

事業名	全体事業費(計画/実施)	事業内容(計画/実施)
幹線・枝線の整備	726百万円 / 615百万円	管渠新設( L=8,030m / 7,812m )
計画の策定	18百万円 / 14百万円	アクションプランの策定( 1式 / 1式 )
排水設備工事費用等助成	13百万円 / 13百万円	排水設備工事費用への助成( 1式 / 1式 )

### 5 目標と成果

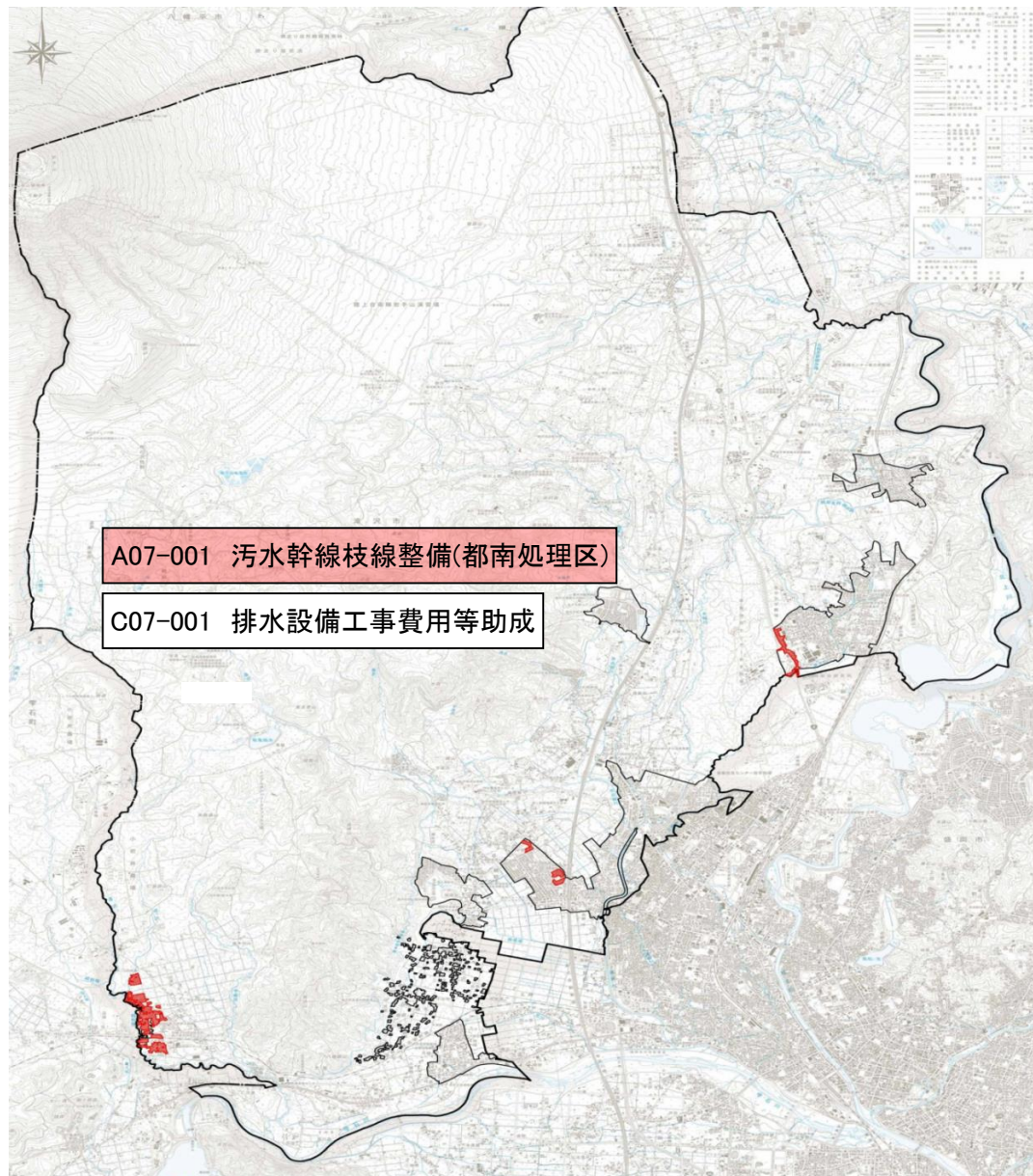
目標	算定式	計画値	実績値	判定	達成状況と事業効果
下水道水洗化率	下水道を利用している人口 / 総人口	<b>61.7%</b> (= 34,343人/55,575人)	<b>64.1%</b> (= 35,225人/54,912人)	○	巢子地区、鶺鴒地区、及び小岩井地区の下水道本管の新設工事を進めることで水洗化人口が増加した。 また、宅内の排水設備工事に助成を行うことで、水洗化人口の増加を促進し、効率的に整備を行った。

- 6 今後の方針 引続き各事業を進めることにより、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。
- 7 公表方法 滝沢市のホームページに掲載します。

(参考様式3) (参考図面)

計画の名称	滝沢市における循環のみちの実現	交付対象	滝沢市
計画の期間	平成27年度～平成29年度(3年間)		

都南処理区



A07-002 効率的汚水処理整備計画  
(事業計画区域全域)

A07-001 汚水幹線枝線整備(都南処理区)

C07-001 排水設備工事費用等助成

凡例

— · — · — ·	行政区域
————	事業計画区域

整備箇所の色分け

————	新設(赤)
------	-------